



# 横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

## R E P O R T

●地区名 錦が丘地区

●団体名 錦が丘地区地域緑のまちづくりの会



◎所在地：港北区 錦が丘

●取組期間

5か年

●協定締結期間

平成24~28年度



地区の範囲図及び緑化実施場所

### 横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

横浜みどりアップ計画



### 地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

地域緑のまちづくり事業



### 団体の概要・地区の諸元

かつて住民が自ら植え、街路樹として残されてきたサクラやモミジの保全・存続を巡り、平成20年に土木事務所と地域で協議が行われ、それを契機に「錦が丘・緑豊かな街並みを創る会」が結成されました。これまでの街路樹保存・継承の運動を引き継ぐ形で、平成24年から「錦が丘地区地域緑のまちづくりの会」として、街路樹を含む地域全体の緑化計画の推進に取り組むことになりました。

錦が丘地区は菊名駅に隣接する地域で、昭和初年の東急東横線開通に伴い、田園調布などに続き田園都市として開発された住宅街で、全国的にも珍しいロータリーが設けられています。事業の対象範囲の世帯数は約1,200戸、面積は約14.4haあります。

### 取組(計画)の概要

#### 基本理念

～緑でつながるコミュニティ～

住民が力を合わせて錦が丘を緑でつながるコミュニティにするために、次の3点を基本理念として緑のまちづくりを進めていきます。

- 緑の歴史的景観の継承
- 歩行者の安全性と快適性の向上
- 街路樹、ロータリー、民有地の緑の充実



- ① 地区内の街路樹
- ② 民有地の沿道部分緑化事例
- ③ 空き地における緑化整備
- ④ 街路樹の維持管理についての講習会の様子
- ⑤ ハンギングバスケット講習会の様子
- ⑥ ロータリーにおける緑化整備
- ⑦ ロータリーの模型を囲んで

## 5か年の主な取組実績

● 助成金額合計 12,475千円

### 民有地緑化

#### 5年間で25件の緑化整備を実施!

ツタ類等による擁壁緑化や、生垣の設置など、地区全体で緑化が進みました。また、電車が見える空き地を活用し、緑化することで、住民に開放された景色を眺められる空間が創出されました。

づくり事業)の街路樹の新植、または植替えを行いました。その結果、街路樹の保存・継承が大きく進展しました。

### 活動支援

#### 講習会の実施や広報誌の発行など精力的に活動!

ハンギングバスケットや樹木のせん定講習会など、5年間で20回の講習会を実施し、地域の緑に対する関心などを高めています。また、「錦が丘・緑の街並み通信」として広報誌を毎年複数回発行したほか、落ち葉の清掃ボランティアや地域の祭りに参加するなど、地域へ向けて会の活動や緑化の目的のPRを行いました。

### 公共施設緑化(街路樹整備)

錦が丘では、以前から歩車共存道路の考えによる街路樹の保存・継承活動を行ってきました。これが地域緑のまちづくり事業に引き継がれサクラ、モミジなど68本(このうち52本が地域緑のまち



### 5か年の取組を振り返って [地区のインタビューのコメントから抜粋]

5年間の取組を通して、「地域緑の幅広い活動を土木事務所に理解してもらい、協力的な関係を築け、街路樹の保全など緑の維持管理も含めた具体的な内容が実現できた」との声や、「民有地の緑は、随所で増えて街路樹とともにまち全体が緑の多い魅力的な地区になることができた」との声があがりました。街路樹の保全をきっかけに活動が始まった地区ですが、地域緑のまちづくりを通じて、より幅広い緑化に取り組むことができました。



#### お問合せ先

横浜市環境創造局みどりアップ推進課  
Tel.045-671-3447 | Fax.045-224-6627  
メール ks-ryoka@city.yokohama.jp